

# 感 染 症 週 報 [ 市内週報 平成21年第36週 ]

結核・感染症発生動向調査

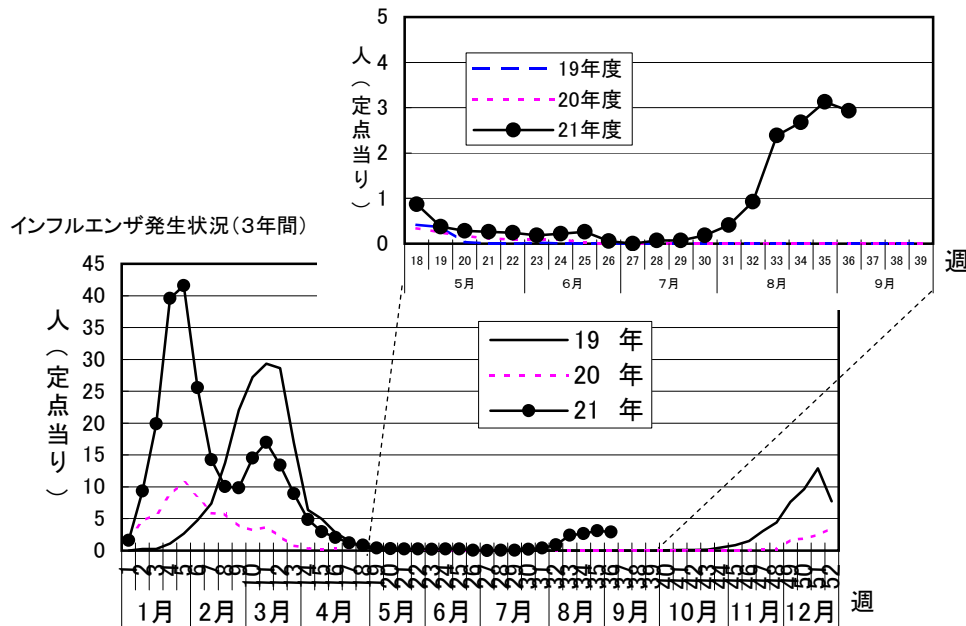
平成21年9月8日

平成21年第36週感染症発生状況【川崎市内】

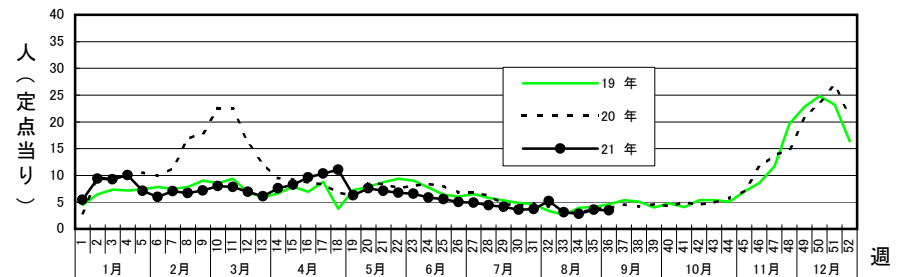
平成21年8月31日～平成21年9月6日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第36週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) ヘルパンギーナとなっています。</p> <p>インフルエンザの報告数がわずかに減少しましたが、例年より非常に多い状況です。学級時閉鎖等の臨時休業も増えていますので、引き続き今後の発生動向には注意が必要です。</p> <p>レジオネラ症の発生が1件(推定感染原因:水系感染、推定感染地域:川崎市)ありました。</p> <p>新型インフルエンザの集団感染が疑われる事例が、7月24日～9月6日までに43件発生しました。 ※7月24日以降、新型インフルエンザは全数把握から、集団発生に関連した症例のみの届出となりました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 4件	結核 261件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 3件 腸管出血性大腸菌感染症 17件
	4類感染症	レジオネラ症 1件	A型肝炎 1件、オウム病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 5件
	5類感染症	アメーバ赤痢 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件	アメーバ赤痢 8件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 12件、ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件、梅毒 5件、 風しん 1件、麻しん 22件
新型インフルエンザ等感染症	—	新型インフルエンザ 135件*	

5月～9月を拡大



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)

